

# 女子ユニフォーム用ジャケットの WF と CF



## 算定対象商品やサービス

- 耐用年数 3 年 表地ポリエステル 100%の女子ユニフォーム用ジャケット

## 算定対象商品やサービスの紹介

- 一般的に使用されているポリエステル 100%の女子ジャケットの水資源消費量(WF)とCO<sub>2</sub>-eq(CF)排出量を比較。
- 洗濯方法はドライクリーニング(パークロールエチレン)

## 算定範囲(バウンダリー)

- 原材料調達から焼却廃棄まで

## 算定根拠

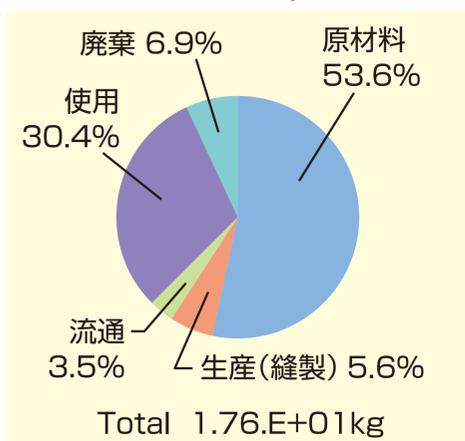
- 伊坪研究室データベース  
\* 輸送・都市ガス・一般廃棄物のみ資生堂大橋氏のデータ

## 評価手法

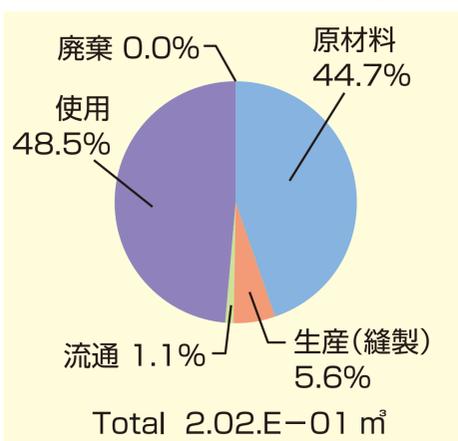
- 原単位法 使用量 × 原単位

## 算定結果

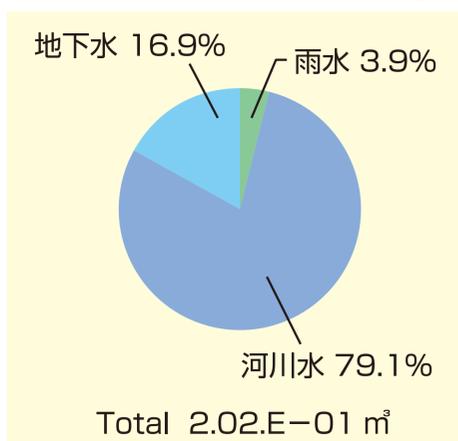
● 段階別CO<sub>2</sub>-eq排出比率



● 段階別水資源消費比率



● 取水源別水資源消費比率



## 算定結果に対する寸評

WF と CF とも原材料段階と使用段階の比率が高いことが判明した。  
原料段階で羊毛を使用、又、使用段階で家庭洗濯を行なえば水資源消費量はより大きくなると考える。  
水資源消費を取水源別に見ると河川水が大半を占めるが、天然繊維使用すれば雨水のウエートが高くなると考える。